

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模大野2丁目 共同住宅 新築工事	階数	地上5F
建設地	相模原市南区相模大野2丁目3388-1,23(地番)2丁目12(住居表示)	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	193 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年4月30日
敷地面積	1,726 m ²	作成者	株式会社 飛鳥設計
建築面積	975 m ²	確認日	2020年4月30日
延床面積	3,664 m ²	確認者	株式会社 飛鳥設計

外観バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE=1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.4</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.7</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地周辺に配慮し、道路境界線に沿って歩道上空地を確保するとともに緑地を計画し、落ち着いた色彩の外観を用いることで住宅らしい温かみのある景観の創出に努めた。 	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 住戸の開口部にはカーテンレールを設置し、日射への対応に配慮している。 部材にはF☆☆☆☆を採用し、環境に配慮している。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 充分な階高と天井高、開口部を設けるとともに、維持管理にも配慮した計画としている。 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模原市景観計画区域の基準に基づく色彩配置としている。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 住戸の開口部は全て2方向に面しており、有効な通風と採光が確保されている。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 内装の更新性に配慮し、二重天井、二重壁を採用している。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐輪場を全住戸分確保し、周辺の交通負荷軽減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される